

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	2年生	期 別	通年	科目の実務経歴	有
授業科目名	マッサージ応用実習			担当教員	有馬香代		
授業の方法	実 技			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	特殊な部位におけるマッサージ施術の基本的な技術と知識を習得し、安全かつ確実に施術ができる能力を身につける。各症候に対するマッサージを、基礎実習で修得した内容から組み立て、鑑別する知識と実践できる能力を身につける。						
授業の到達目標	I. プロフェッショナリズム 1. 他者を思いやり尊重する態度 3. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 4. 自己点検・自己評価および「自己研鑽に努める態度」 II. 医学的知識 8. リスク管理 III. 基本的臨床能力 6. あま指の各手技を安全かつ適切に施す能力 IV. コミュニケーション 1. 身だしなみ・礼儀やマナー 2. 聴く・観る・書く・伝える 3. 患者やその患者に対するホスピタリティと共感的態度 4. 他者と良好な関係を構築できる能力						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	オリエンテーション		1	主要症候に対するあん摩マッサージ指圧療法《腰下肢症状》①		
	2	1年次の基礎技術の確認		2	主要症候に対するあん摩マッサージ指圧療法《腰下肢症状》②		
	3	手部のマッサージ(1年次復習) ※強擦法の復習		3	主要症候に対するあん摩マッサージ指圧療法《腰下肢症状》③		
	4	足関節のマッサージ		4	腰下肢症状に対するマッサージ療法のまとめと確認		
	5	膝関節のマッサージ		5	腰下肢症状に対するマッサージ療法のまとめと確認		
	6	股関節のマッサージ		6	顔面部のマッサージ①(施術前準備、顔面部)		
	7	下肢関節マッサージ全体の復習と確認		7	顔面部のマッサージ②(デコルテ)		
	8	下肢関節マッサージ全体の復習と確認		8	顔面部と頸部・デコルテのマッサージ		
	9	腹部のマッサージ①(肝臓および胆嚢部・胃部)		9	主要症候に対するあん摩マッサージ指圧療法《頸上肢症状》①		
	10	腹部のマッサージ②(小腸部・大腸部)		10	主要症候に対するあん摩マッサージ指圧療法《頸上肢症状》②		
	11	腹部のマッサージ③(膀胱・運動法)		11	主要症候に対するあん摩マッサージ指圧療法《頸上肢症状》③		
	12	腹部マッサージ全体の復習と確認		12	頸上肢症状に対するマッサージ療法のまとめと確認		
	13	手関節のマッサージ		13	頸上肢症状に対するマッサージ療法のまとめと確認		
	14	肘関節のマッサージ		14	実践的オイルマッサージ①		
15	肩関節のマッサージ		15	実践的オイルマッサージ②			
評価基準	評価：90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験40%、期末試験40%、平常点20%で評価します。			実務経験	有馬:教員歴20年、医療リンパドレナージュセラピスト		
履修上の注意	実技授業ですので、積極的かつ真摯な授業態度で臨んでください。			授業時間外の学習	体表解剖の予習復習、放課後などを利用した実技復習を心がけてください。		
使用教材	東洋療法学校協会編 あん摩マッサージ指圧実技(基礎編) 医道の日本社 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編) 文光堂 図解 鍼灸療法技術ガイド I・II 鍼灸臨床の場で必ず役立つ実践の全て 矢野忠 編集 授業ではプリントを配布します。			連絡先	教務課を訪ねてください。		